

平成26年度 第138回 日商簿記検定試験 3級 一商業簿記一 解 説

第1問 (仕訳)

1. 有価証券の取得は、主たる営業取引から生じるものではないため、未払金勘定で処理する。
有価証券の取得価額： $2,000,000円 \times 98.5円/100円 = 1,970,000円$
2. 固定資産の売却については、帳簿価額と売却価額の差額を固定資産売却損又は固定資産売却益勘定で処理する。
減価償却累計額の金額： $150,000円 \times 28ヶ月$ (平成22年9月～平成24年12月) $/60ヶ月 = 70,000円$
固定資産売却損： $150,000円$ (取得原価) $- 70,000円$ (減価償却累計額) $- 20,000円$ (売却価額)
 $= 60,000円$
3. 手形の額面金額と入金額との差額は手形売却損勘定で処理する。
手形売却損の金額： $511,000円 \times 3\% \times 50日/365日 = 2,100円$
当座預金の金額： $511,000円 - 2,100円 = 508,900円$
4. 約束手形の裏書譲渡については、当社では手形の受取人であるため、受取手形勘定で処理し、残額については、掛取引として処理する。なお、発送に係る諸費用は、半分については当社が負担するため発送費勘定で処理し、残額を長崎商店が負担するため売掛金勘定に含めて処理することになる。
5. 他店商品券については、資産として処理し、当店発行の商品券については、発行時に負債として認識されているため負債の減少として処理する。

第2問 (商品有高帳の作成)

商品有高帳とは、商品の受払を記録する補助簿であり、商品の在庫管理および売上原価を計算するために作成される。商品有高帳を作成する際に、購入原価の算定に際して付随費用を加算する点に注意が必要である。

第3問（合計残高試算表の作成）

合計残高試算表の作成に関する問題である。以下仕訳を示すが、二重仕訳については注意が必要であるため、ゴシックで示す。

1. 現金取引

①	(借) 現 金	25,000	(貸) 前 受 金	25,000
②	(借) 現 金	36,000	(貸) 売 掛 金	36,000
③	(借) 現 金	100,000	(貸) 当 座 預 金	100,000
④	(借) 仮 払 金	15,000	(貸) 現 金	15,000
⑤	(借) 水 道 光 熱 費	4,000	(貸) 現 金	5,000
	(〃) 資 本 金	1,000		

※ 店主利用の水道光熱費は、資本金勘定で処理する。

2. 当座預金取引

①	(借) 当 座 預 金	130,000	(貸) 受 取 手 形	130,000
②	(借) 当 座 預 金	250,000	(貸) 売 掛 金	250,000
③	(借) 仕 入	130,000	(貸) 当 座 預 金	130,000
④	(借) 買 掛 金	200,000	(貸) 当 座 預 金	200,000
⑤	(借) 支 払 手 形	120,000	(貸) 当 座 預 金	120,000
⑥	(借) 現 金	100,000	(貸) 当 座 預 金	100,000
⑦	(借) 給 料	145,000	(貸) 当 座 預 金	130,000
			(〃) 預 り 金	15,000

※ 給料の支払額には預り金の額が含まれないことに注意する。

3. 仕入取引

①	(借) 仕 入	130,000	(貸) 当 座 預 金	130,000
②	(借) 仕 入	33,000	(貸) 支 払 手 形	33,000
③	(借) 仕 入	260,000	(貸) 買 掛 金	260,000
④	(借) 仕 入	50,000	(貸) 前 払 金	50,000
⑤	(借) 買 掛 金	4,000	(貸) 仕 入	4,000

4. 売上取引

①	(借) 受 取 手 形	158,000	(貸) 売 上	158,000
②	(借) 売 掛 金	360,000	(貸) 売 上	360,000
③	(借) 売 上	10,000	(貸) 売 掛 金	10,000

5. その他の取引

①	(借) 支 払 家 賃	60,000	(貸) 前 払 家 賃	60,000
②	(借) 買 掛 金	150,000	(貸) 受 取 手 形	150,000
③	(借) 貸 倒 引 当 金	6,000	(貸) 売 掛 金	6,000

第4問（伝票の記入）

伝票の記入について、いったん全額を掛取引として起票する方法と、取引を分解して処理する方法を読み取る問題である。読み取り方法は、下記の通りである。

- (1) 振替伝票に220,000円と記入されていることから、いったん掛取引として処理する方法であることが分かる。

振替	(借) 仕	入	220,000	(貸) 買	掛	金	220,000
出金	(借) 買	掛	金	20,000	(貸) 現	金	20,000

- (2) 入金伝票の科目欄に売上と記入されているため、取引を分解している方法であることが分かる。

入金	(借) 現	金	50,000	(貸) 売	上	50,000	
振替	(借) 売	掛	金	300,000	(貸) 売	上	300,000

東京CPA会計学院からのお知らせ

【自分の未来を考えるセミナー『未来塾』を開催します】

- ・何のために働くのか？
- ・本当の学力を身に付けること、とは？
- ・考える力を身に付けること、とは？

これからの進路について、一緒に考えましょう。

開催日時：11/29（13:00～16:30）

【体験入学会のご案内】

東京CPA会計学院では、『体験入学会』を開催しています。当日は授業体験の他、様々な相談にもお答えいたします。自分の未来を真剣に考えてみませんか？
ご家族の方も、ぜひ、お気軽にご参加下さい。

開催日時：11/22（10:00～15:00 昼食付）

詳しくはwebまた下記の連絡先まで。

web. <http://www.cpa-net.ac.jp/>

mail. cpa@cpa-net.ac.jp

tel. 0120-55-1937（月～土：9：00～19：00）

第5問 (財務諸表の作成)

1.	(借) 雑	損	1,000	(貸) 現	金	1,000
----	-------	---	-------	-------	---	-------

現金実査：236,000円（紙幣・硬貨）＋22,000円（他店振出しの小切手）＝258,000円

雑損：259,000円（帳簿）－258,000円（実査）＝1,000円

2.	(借) 仮	受	金	56,000	(貸) 売	掛	金	56,000
----	-------	---	---	--------	-------	---	---	--------

3.	(借) 貸	倒引	当金	繰入	11,000	(貸) 貸	倒引	当金	11,000
----	-------	----	----	----	--------	-------	----	----	--------

貸倒引当金繰入：{180,000円（受取手形）＋476,000円（売掛金）－56,000円（仮受金）}×3%
－7,000円（貸倒引当金）＝11,000円

4.	(借) 売	上	原	価	192,000	(貸) 繰	越	商	品	192,000
----	-------	---	---	---	---------	-------	---	---	---	---------

(借) 売	上	原	価	2,960,000	(貸) 仕	入	2,960,000
-------	---	---	---	-----------	-------	---	-----------

(借) 繰	越	商	品	205,000	(貸) 売	上	原	価	205,000
-------	---	---	---	---------	-------	---	---	---	---------

5.	(借) 消	耗	品	2,000	(貸) 消	耗	品	費	2,000
----	-------	---	---	-------	-------	---	---	---	-------

6.	(借) 減	価	償	却	費	100,000	(貸) 減	価	償	却	累	計	額	100,000
----	-------	---	---	---	---	---------	-------	---	---	---	---	---	---	---------

減価償却費：600,000円（取得原価）÷6年（耐用年数）＝100,000円

7.	(借) 受	取	利	息	8,000	(貸) 前	受	受	取	利	息	8,000
----	-------	---	---	---	-------	-------	---	---	---	---	---	-------

300,000円×4.0%×8ヶ月（平成26年1月～平成26年8月）/12ヶ月＝8,000円

8.	(借) 給	料	9,000	(貸) 未	払	給	料	9,000
----	-------	---	-------	-------	---	---	---	-------

9.	(借) 前	払	家	賃	90,000	(貸) 支	払	家	賃	90,000
----	-------	---	---	---	--------	-------	---	---	---	--------

(注) 貸借対照表上、前払家賃は前払費用、前受受取利息は前受収益、未払給料は未払費用、繰越商品は商品と表示する。